

甲賀市湖南市新ごみ処理施設整備検討委員会

会議録 要点

【日時】令和6年11月21日（木） 14時00分～15時30分

【場所】甲賀広域行政組合衛生センター 3階会議室

【出席者】委員：

氏名	役職等	備考
竺 文彦	甲賀市環境審議会 会長	決議により委員長
鈴木 一実	湖南市環境審議会 会長	決議により副委員長
保井 純子	甲賀市市民環境部 部長	
東峰 一馬	湖南市環境経済部 部長	
森脇 賢	滋賀県甲賀環境事務所 所長	
松本 博彰	甲賀広域行政組合 事務局長	

管理者：湖南市 市長 松浦加代子

事務局：甲賀広域行政組合 中島次長、前田室長、浦山室長補佐、山元主幹

オブザーバー：甲賀市方山課長

：湖南市田中課長

支援委託先：パシフィックコンサルタンツ株式会社 吉井、吉留、井手、杉原

【内容】

◇開会

- 1 管理者あいさつ
- 2 甲賀市湖南市新ごみ処理施設整備検討委員会委員の委嘱
- 3 甲賀市湖南市新ごみ処理施設整備検討委員会設置条例の確認…………… 資料1
- 4 委員および事務局の紹介…………… 資料2
- 5 委員長、副委員長の選出について
委員長、副委員長あいさつ
- 6 諮問…………… 資料3

◇議事等

- 7 甲賀市湖南市新ごみ処理施設整備検討委員会の公開等要領について…………… 資料4
- 8 現状と経緯について…………… 資料5
組合のごみ処理施設の現状
- 9 スケジュールと審議内容の確認…………… 資料6
(1) 審議スケジュール（案）
(2) 検討課題の確認
- 10 閉会挨拶（委員長）

【配布資料】

- 甲賀市湖南市新ごみ処理施設整備検討委員会設置条例…………… 資料1
- 甲賀市湖南市新ごみ処理施設整備検討委員会名簿…………… 資料2
- 甲賀市湖南市新ごみ処理施設整備基本構想の策定について（諮問書）…………… 資料3
- 甲賀市湖南市新ごみ処理施設整備検討委員会の公開等要領…………… 資料4
- 現状と経緯について…………… 資料5
- 審議スケジュールと検討課題の確認…………… 資料6

【決定事項】

（委員長・副委員長について）

- ・ 委員長を笠委員、副委員長を鈴木委員とする。

（委員会の公開等について）

- ・ 会議は公開することとするが、公開によって公正かつ円滑な議事運営に支障が生じると認められる場合には、必要に応じて非公開もしくは一部非公開とする。また多数の傍聴者の参加が見込まれる場合には、会場の収容人数に応じて会場を変更する可能性がある。
- ・ 議事録は要点筆記とし、概ね1ヶ月以内に本組合のホームページに公開する予定である。

（ごみ処理の在り方について）

- ・ 本委員会では、本組合および両市におけるごみ処理の在り方そのものを、ゼロから見直すこととする。

【いただいた質問、意見等】

- ・ ごみ搬入量実績は令和に入ってから減少傾向にあるが、このまま減少していく予測をされているのか。（委員長）
 - ⇒ 次回の第2回検討委員会で、両市の実績を基に推計した結果を示す予定である。（パシフィックコンサルタンツ）
- ・ 現有の甲賀広域行政組合衛生センター第2施設には3つの焼却炉が整備されているものの、通常2炉で運転されているとのことだが、3炉運転の期間は年間にどの程度か。また、どのようなタイミングで3炉運転が行われているのか。（委員）
 - ⇒ 年間に10日程度で、年末年始等ごみ量が急激に増加する場合や休炉明けに3炉運転を行っている。（事務局）
- ・ 令和3年から5年にかけて行った基幹改良工事はどのような内容か。（委員）
 - ⇒ 二酸化炭素排出量の削減、処理能力の回復、運転時間の短縮を目的とした。主な内容としては、モーターを高効率仕様に変更、3炉ある焼却炉の全更新、前処理の破砕機を新たに設置したこと等が挙げられる。（事務局）
- ・ 両市の下水汚泥の処理方法の将来予測を見込んだ数値を出していただけるか。（委員）
 - ⇒ ごみ種別に出す予定である。バイオガス化施設についても紹介予定である。（パシフィックコンサルタンツ）
- ・ 行政組合は、ごみとし尿を処理している。本委員会ではごみのことだけ検討するのか、し尿処理の部分まで検討するのか（委員）
 - ⇒ 検討には入っていない。（事務局）
 - ⇒ 本委員会ではあくまでもごみ処理の焼却あるいは処理、それについての検討に特化した形での検討でよいと思う。（委員）
 - ⇒ 第1施設（し尿処理施設）と第2施設（ごみ処理施設）は関連のある施設なので、何が一番効率的なのかを考えた方が良いのではないか。（委員）

- ・ 現有施設では、下水汚泥の搬入量が多いため流動床式焼却炉を採用しているとのことだが、新ごみ処理施設でも同様に流動床式焼却炉を採用する予定か。(委員)
 - ⇒ 技術の発展により、現在は他の方式も採用可能である。(事務局)
- ・ 本委員会では、新ごみ処理施設の整備を前提とするのではなく、両市において最も効率的にごみを処理できる方法について、ゼロから検討したい。(委員)
 - ⇒ 新ごみ処理施設の整備ありきではなく、ゼロから検討することに賛成である。様々な廃棄物の処理技術を踏まえて、両市に適した処理の在り方を検討し、その後に候補地の選定を行うべきである。(委員)
- ・ 具体的な話が出ているが、第2回検討委員会が年明けの2月となっている。ゼロベースで検討を行うのであれば、あまり時間がないので心配である。(副委員長)
 - ⇒ 資料が揃い次第、1月ぐらいに協議を行い、予定が合えばその後、第2回検討委員会を2月に開催可能かどうか判断する。(事務局)
- ・ 甲賀市と湖南市の意見を本検討に十分に反映させるため、両市の意見を集約する必要がある。第2回検討委員会を実施する前に、担当課での協議を実施したい。(委員)
- ・ ごみ処理費が市の財政に占める割合が大きい。財政部局も含めた協議を必要に応じて入れてもらいたい。(委員)
 - ⇒ ごみ処理設備検討委員会設置条例7条の「関係者の出席」を根拠として、今後担当課長等を含めて両市の意見を聴いていきたい。(事務局)
- ・ 候補地を必要としない場合の処理方法として、どのような案が考えられるのか。(委員)
 - ⇒ 現敷地内での建て替え、基幹改良工事、外部処理委託等がある。(事務局)
- ・ 他の自治体が新しいごみ処理施設を計画・整備する際に、どのように環境面に配慮しているか、具体的な事例を提示していただきたい。(委員)
- ・ 環境アセスメント等は今回の委託業務に含まれているのか。(委員)
 - ⇒ 別の契約である。(パシフィックコンサルタンツ)
- ・ 候補地が必要となった場合、候補地に選ばれた市が単独で行う業務はあるのか。(委員)
 - ⇒ 環境アセスメント等は組合事業として進めていくことが一般的であるが、土地の買収、道路整備等については、事実上、候補地となった市の土木課等の方と協力しながら進めることになる。(パシフィックコンサルタンツ)
- ・ 民設民営の場合、環境アセスメントは事業者で行うことになるのか。(委員)
 - ⇒ 事業者が行うことになると思われる。そのあたりを含めた事業手法の検討は検討委員会の中で予定している。(パシフィックコンサルタンツ)

- ・ 生ごみの処理は分別収集の難しさやコストの問題を抱えているものの、今後非常に重要になる。新ごみ処理施設の規模等については、生ごみの処理についても考慮して検討すべきだと考えている。(委員長)